



教授

君塚 正臣

キミヅカ マサオミ



大学院国際社会科学府 法曹実務専攻
大学院国際社会科学府 国際経済法学専攻
kimizuka@ynu.ac.jp

<http://kenkyu-web.jmk.ynu.ac.jp/Profiles/0009/0000569/profile.html>

【研究概要】

主に法科大学院で憲法学を教授する(「憲法I」など)。2006年度「Tutorial I」の総合授業評価は4.57点(5点満点)を記録した。2012-2013年度には立教大学法科大学院に非常勤講師として出講した。男女共同参画に関する諸外国の基本法制等に関する調査研究会(基本法・公務部門)委員、大学入試センター強化科目第一委員会政治・経済部会委員、高槻市個人情報保護運営審議会委員などを歴任した。既に100件を超える論説、研究ノート、判例研究、判例紹介、書評、演習解説などがある。判例百選シリーズに4判例(のべ8回)、重要判例解説に3判例、判例セレクトに3判例、ジュリストに11の米判例(何れも有斐閣)の解説の執筆実績がある。研究費実績としては、科研費基盤研究(C)「アメリカ憲法判例の総合的分析に基づく憲法訴訟の研究」(1999-2001年度、研究代表:戸松秀典)、科研費奨励研究(A)・若手研究(B)「『家族』の憲法学的研究」(2001-2002年度、単独)、科研費基盤研究(C)「『家族』の再検討に伴う社会権規定の再考」(2005-2008年度、単独)、同「司法権・憲法訴訟論の総合構築」(2013-2017年度、単独)などがある。1997年9月13日には日米法学会で、1999年12月5日には関西アメリカ公法学会で、2008年10月12日には日本公法学会で学会報告をした。自由人権協会・連続講演・憲法の現在2「平等権と司法審査——性差別事例を中心として」(2004年10月29日)を行う。日外アソシエーション『現代日本執筆者大事典第4期』(2003年11月)に、憲法学者としては最年少で掲載され、第5期(2015年7月)にも連続掲載された。2008年12月、『憲法の私人間効力論』は産経新聞2008今年、私の3冊<学術>(宮崎哲弥選)2位に選ばれた。2013年1月、『高等学校 新現代社会』(帝国書院)分担執筆。2013年8月「池上彰・緊急スペシャル」(フジテレビ)を監修した。2015年7月、安保関連法案に対するコメントが朝日新聞、東京新聞に掲載。

【アドバンテージ】

「私人間効力論」は、憲法の最高法規性から、シンプルな新聞効力説とでも言えるものを理論的に引き出したものである。「二重の基準論」では、学説の多くが期待をかける中間審査を否定し、近代立憲主義下における付随的違憲審査制として、言葉通りに2つの司法審査基準による思考を提唱するものである。関連して、性差別など、憲法14条1項列举事由に伴う差別は厳格審査基準が妥当することを網羅的に述べた点も、先駆的業績として付記する。

【事例紹介】

単独著2冊、編著3冊、共著1冊、分担執筆多数。論説は更に多数。論説ほかの業績は上記web参照。判例研究も多数である(2008年、一審判決の評釈にほぼ沿って最高裁は判例変更を行う)。ある事件での鑑定書で、有利な和解を導く力となったこともある(2013年、ほぼこの線に沿って最高裁は判例変更を行い、朝日新聞にコメント。2015年、この線に従っての判例変更のためと思き大法廷回付もなされる)。

■ 相談に応じられるテーマ

憲法訴訟(違憲審査制、最高法規性)・司法権論
基本的人権(特に、平等権、表現の自由など)

■ 主な所属学会

日本公法学会
日米法学会
ジェンダー法学会(元理事)
関西アメリカ公法学会

■ 主な論文

『統治行為論再考——《あるが《ない》』「横浜法学22巻1号」2013.9
「続・憲法保障システムとしての選挙制度考——『護憲』する強い参議院——『日本国』は死出の旅に出たのか」「横浜国際社会科学研究所18巻6号」2014.2
『対審権と伝聞証拠——The Story of Crawford v. Washington, 541 U.S. 36(2004)』「大沢秀介＝大林啓吾編『アメリカ憲法判例の物語』成文堂」2014.4

『過度に広汎性ゆえ無効の法理』「横浜法学23巻2号」2014.12

『司法権定義に伴う裁判所の中間領域論——客観訴訟・非訟事件等再考(1, 2, 3・完)』「横浜法学22巻3号, 23巻1号, 3号」2014.3, 2014.9, 2015.3

■ 主な著書

「憲法の私人間効力論」悠々社 2008.7
「高校から大学への法学(君塚正臣編)」悠々社 2009.4
「法学部生のための選択科目ガイドブック(君塚正臣編)」ミネルヴァ書房 2011.4
「ベアシックテキスト憲法[第2版](君塚正臣編)」法律文化社 2011.10
「比較憲法(君塚正臣編)」ミネルヴァ書房 2012.10
「戸松秀典＝今井功編『論点体系 判例憲法第1巻/第2巻』」第一法規, 2013.6
「野田進＝松井茂記編『新・シネマで法学』有斐閣2014.9
「憲法訴訟研究会＝戸松秀典編『続・アメリカ憲法判例』」有斐閣 2014.9